

演落語実演禁



禁演落語を演じる立川談之助さん
=大阪市浪速区で

戦時中の白痴演目

立川談之助さん

戦時に自粛を余儀なくされた落語の演目を上演する「実演・禁」(科・歯科九条の会主)が7日、大阪市浪

速区の保健医協同組合会館で開かれ、立川談之助さん(56)=東京都立川市=が実演した。

禁演落語は第二次大戦中、落語の全面禁止を免れるため、落語界が自主規制した演目。遊女や酒など時局にふさわしくない内容の53題が選ばれ、終戦まで自粛された。立川さんは「落語を通して平和について考えてほしい」と、6年前から全国で禁演落語の再演に取り組んでいる。

この日は、立川さんが禁演落語の歴史を説明。文字の読めない夫婦が自業のつけ方を考える騒動を描いた「自

薬」を上演した。
同市城東区の男性医師(54)は「自由に落語が楽しめる現代のありがたさを実感した」と話していた。【茶谷亮】